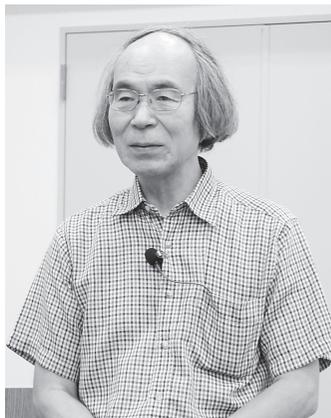


# “棄民政策”からの転換を

サマーセミナー2012 内部被曝・維新・生活保護テーマに開く

9/5  
2012年第1116号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代)



矢ヶ崎(琉球大学名誉教授)・森(立命館大学教授)・矢部(協会理事)各氏が講演



上から、矢ヶ崎克馬氏、森裕之氏、矢部あづさ氏

今後の動向が注視されている内部被曝、維新「改革」、生活保護問題の実態をつかみ、社会保障改善の運動につなげていこうと協会は8月26日、M&Dホールでサマーセミナーを開いた。矢ヶ崎克馬氏(琉球大学名誉教授)が「ひろがる内部被曝と大飯原発再稼働」、森裕之氏(立命館大学教授)が「橋下『維新の会』の国政進出で歯科医療・医療はどうなる」、矢部あづさ理事が「生活保護を考へる」のテーマでそれぞれ講演した。ランチョンセミナーとして、小山榮三理事・相談役が診療報酬改定会員アンケートの結果を報告した。

## 被曝基準は命を軽視

福島第一原発事故による放射性物質の拡散で、内部被曝による健康被害が懸念されている。矢ヶ崎氏は、日本の被曝線量の基準値について、チェルノブイリ周辺国やドイツと比較しながら「政府と東電の都合の良いように決められている。功利主義とも言えるICRP

(国際放射線防護委員会)の低い基準が被害を隠している」と批判した。

「次号に詳報」

## 「八策」で福祉は縮小

橋下「維新の会」の総選挙公約「維新八策」について森氏は、「新自由主義的改革の再興を目指すものである」と主張。社会保障制度改革として、医療分野では公的保険の縮小と混合診療の完全解禁が狙われていると指摘した。

「八策」で福祉は縮小。汚染地域の拡大防止や非汚染地域での食糧増産などを提案し、被曝問題の学習を通じて「明

晰に、棄民政策、最大防護を」と呼びかけた。

また、首相官邸前のデモに触れながら、「市民の命を度外視している政治は、市民の力で変えるしかない」と訴えた。

## 憲法通り貧困解決を

生活保護問題で講演した矢部氏は、生活保護バッシングが続く一方で、「保護を受けている人は高齢者や障害者など、社会的弱者で8割を超えている」と実態を示し、「厚労省の調査では、『不正』受給の割合は変わっていない」と強調した。

小山氏は、診療報酬改定アンケートで、プラスの協力を求めた。

## ISD条項の恐ろしさ

### 医療保険も狙われる可能性大

米自由貿易協定(TPP)などになつてきたTPPで、その本質を顕著に表わしているのが「ISD条項」だ。投資家、企業が国家を相手に提訴できるというこの条項は、これまでにもNAFTA(北



8月21日に首相官邸前で始まったTPP反対行動

米自由貿易協定)などに盛り込まれており、実際に訴訟が行われている。カナダ政府は、ガソリンのオクタン価を上げる追加物MMTが神経系統に影響を与えるとして輸入を禁止した。これに

対して、アメリカのメタルラッド社が購入した際、地元自治体有害物質処理を考慮して許可を取り消したことに

## 基軸 TPP参加と日本の医療

ルポライター 矢吹紀人

一方、ドイツ政府は、国内にある17基の原発すべてを2022年までに閉鎖することを決めたが、スウェーデンの国営企業ヴァッテンファル社は、これによって同社の所有する2基の原発も稼働中断に追い込まれたと

提訴した。ISD条項による提訴は、「世界銀行関連の機関で審理され、多国籍企業に有利」「審理は1回のみで、反訴はできない

## 豪雨による浸水被害について

被害にあわれた先生はご一報を

この間、近畿地方で激しい雨が降り、各地で被害をもたらしました。被害を受けられた方に、心からお見舞いを申し上げます。

豪雨による床上浸水等の被害にあわれた会員の先生は、協会までご一報くださいますようお願い申し上げます。(管理部)

## 歯界

地デジ化で天気ニュースしか見られなくなつて、気

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)